



公立置賜総合病院

平成28年3月

第 45号

医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902, 1409

「置賜でも婦人科癌診療を」

産婦人科 診療部副部長 小島原 敬信

昨年4月より公立置賜総合病院産婦人科で診療をしている小島原敬信(こじまはら・たかのぶ)です。15年前に1年間、長井市立病院におりました。その後、相模原協同病院(神奈川)、山形大学医学部附属病院を経て当院へ着任いたしました。大学病院での13年間はほとんど婦人科悪性腫瘍の診療に従事しておりました。現在、山形県内に3名いる(来年から4名になる)婦人科腫瘍専門医の一人です。現在当院では、時間のかかる手術(子宮頸癌に対する広汎子宮全摘術、卵巣癌の傍大動脈リンパ節郭清を含めた根治手術等)や臨床研究段階の化学療法を除けば、4時間以内の手術や、化学療法、治療後の外来管理等のほとんどは対応できます。大学病院で手術する方の術前・術後の化学療法も、密な連携のもと当院で対応しております。通院の便・緊急時の対応等を考えると地元での治療が最適であると思うのですが、大学病院での手術を希望される方に関しては、当院で対応できる病状であっても大学へ紹介しております。逆に他院で診療を受けている方で、今後の治療を当院で受けたい方は主治医からの紹介状をお持ちになれば受け入れ可能です。



在宅緩和医療をご希望の方には、対応できる施設をご紹介した上で、必要時の短期入院は当院で受け入れることができます。癌の治療は一生モノですので、本人・ご家族が後悔しないような選択をしていただくのが一番だと思います。

最近、子宮頸部上皮内癌など前癌病変の診断・治療件数も週2~4件と格段に増えました。主に婦人科検診で要精査と判定された方が対象ですが、皆さんとても心配な様子でおいでになります。精密検査の上、手術(円錐切除術)や定期検査などの方針を決定しております。この手の病変の多くはきちんと対処すれば生命に関わることはほとんどありませんので、患者さんが必要以上の心配を抱かないように正しく病状を説明し治療するのも我々の責務だと思っております。

特集:

産婦人科
診療部副部長
小島原 敬信

……1

鶴岡地区医師会
視察報告

……2~3

WEB 会議システム
について

……4

2 鶴岡地区医師会視察(IT を利用した多職種連携)

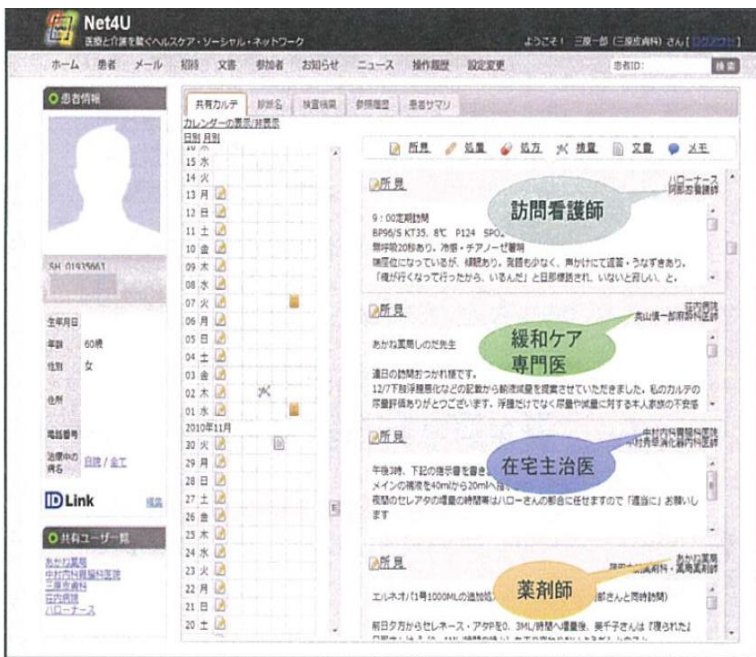
2月6日(土)に医療連携・相談室が事務局を運用しております、置賜地域医療情報ネットワーク協議会(会長:米沢市医師会長 高橋秀昭氏)の事業において、先進地として有名な鶴岡地区医師会を視察して参りました。一部ではありますが御報告させていただきます。

ネットフォー・ユー

「Net4U」を活用した多職種連携



「Net4U」は、鶴岡地区医師会が運営する地域電子カルテで、鶴岡地域内の病院、診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局、介護事業所等の患者に関わる多職種が垣根なく情報を共有し、コミュニケーションを可能することで、顔の見える地域包括ケアをサポートするヘルス・ソーシャル・ネットワークです。



かかりつけ医
専門分野に慣れていない...
専門医に見てもらえるから
心強い



病院医師
病院にいながら指示を出したり
退院後の状態を確認できる



訪問看護師
病院の治療経過と在宅医の
指示がわかり、ケアに活かす
ことができる



ケアマネ
医療の経過がわかり、状態に応じた
サービス調整ができる

2011年よりケアマネの参加スタートし、全ケアマネの約8割が参加しています。在宅医からは、「生活の状況や家族の負担感など医師が知らない情報を得ることができるようになり、新たなパートナーを得た感覚だ」という声も聞かれているようです。しかし、ICTは使用する方と使用しない方の2極化している現実もあるようです。

「たかがIT、されどIT、あってこそ繋がる多職種連携」

置賜地域でも地域ごと連携ツールが立ち上がっています。OKI-netはじめ、ITを活用した情報共有、多職種連携がさらに強化されていく時代です。

鶴岡地区医師会内にある 地域連携室「ほたる」の活動

平成 23 年に在宅医療拠点事業としてスタート。多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すことを目的に活動している。連携室を医師会の中に設け、多職種連携の裏方としてまた拠点として活躍中である。

「主な活動内容」

○相談窓口業務

総合相談窓口を設置し、医療・福祉関係者から一般市民まで広く対応している。

○研修会のコーディネート

各施設のレベルアップのための研修会を、地域の資源を活用しコーディネートしている。

○多職種研修会の開催

多職種が集まる機会の提供。

○地域の医療・介護資源の把握

医療資源マップや介護施設での受け入れ可能処置の集約など地域で活用できる情報を集約し、地域へ還元する。

○行政を含めた他機関との連携

鶴岡市との合同研修会開催、薬剤師会、居宅等とミーティングを開催し、地域の課題を収集する。

○啓発活動

市民向けの講演会の開催や HP での情報発信している。

ホームページ



* 様々な組織と協働し地域の課題を抽出

* 対応策を検討し、アクションプランを作成

* 多職種を繋げるキーマン

置賜地域でのキーマンはどこなのか。

置賜地域は、鶴岡市のように行政窓口が1つではありません。3市5町、3つの医師会という中で、単体施設が牽引していくには限界があります。また米沢地域では医療・介護連携において充実が図られてきており、他の地域との格差もあるため置賜地域全体の課題を一にすることが難しいです。課題、その対策など近々から、将来性まで多くある中、顔の見える多職種連携を目指していきたいと考えます。

WEB 会議システム運用開始します

かかりつけ医を主とした退院前調整会議に活用

退院時カンファレンスにクリニックに居ながら参加できる環境を整備しました。その名も「**おきカンファ**」。広い置賜地域でも遠隔地から気軽に参加でき、簡単に顔の見える連携が図れます。OKI-net の付加機能として整備いたしました。今からでも未参加の施設は OKI-net と共に是非参加登録をご検討下さい。参加費、運用費は無料です。

メリット

- ★遠隔地からの参加が可能
- ★移動がないので時間のロスがない



WEB会議システム操作研修会

平成 28 年 3 月 29 日 17:30～
 公立置賜総合病院 研修室1
 稼働に先駆けて、研修会を実施します

公立置賜総合病院

〒992-0601
 山形県東置賜郡川西町
 大字西大塚 2000 番地

代表 TEL:
 0238-46-5000

予約センターTEL:
 0238-46-5700

FAX:
 0238-46-5722

E-MAIL:
 renkei@okitama-hp.or.jp

病院理念
 心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院組合
 公立置賜総合病院
www.okitama-hp.or.jp

あとがき



平成 27 年度も医療連携・相談室の活動をご支援いただき感謝申し上げます。

日々「連携」という言葉が飛び交うほど
 院内連携、院外連携の重要性は高まっております。

平成 28 年度、新たなスタッフを交え、
 紹介・逆紹介、退院調整、地域連携パス、各種相談支援をはじめ
 より良い連携をめざし活動をしてまいります。
 今後ともよろしく願いいたします。